

北栄町 抑制シンテッポウユリ産地発展プラン

事業実施主体名	JA 鳥取中央大栄花き部会シンテッポウユリ部	住 所	北栄町
プラン認定日	平成20年6月27日	プラン期間	平成20年～平成23年

1 プラン内容

(1) 概要

鳥取県園芸試験場で開発された「抑制シンテッポウユリ」の産地発展のため、栽培方法の改善（電照施設・簡易予冷庫の設置、省エネ蛍光灯電球の導入）、新規栽培者の獲得（電照施設・簡易予冷庫の設置、育苗ハウスの導入）を行い、ストックと組み合わせた出荷で「鳥取・大栄の花」のPR・ブランド化を図る。

(2) 取り組みポイント

- 新規栽培者の獲得及び生産安定
- 単価の高い3～5リン比率の向上

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H20	電照設備 (9棟分)	1,550	516	259
H21	電照設備(11棟分) 蛍光ランプ(310個) 簡易予冷庫(1坪タイプ1台、0.5坪タイプ1台)	3,397	1,132	567
H22	電照設備(6棟分) 簡易予冷庫 (1台)	1,705	568	285
合 計		6,652	2,216	1,111

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力 (雇用)	栽培戸数10戸(H16年)	栽培戸数14戸(H23年)
経営内容・規模	面積1.0ha(H16年)	面積1.9ha(H23年)

(2) 成果

1. プランの目標に対する実績

(1) 面積

抑制シンテッポウユリ生産に必要な電照施設等の導入がすすみ、1.0haの面積が、平成23年には、目標の2.0haには届かなかったが、1.9haまで伸びた。

(2) 栽培戸数

栽培戸数は、14戸まで伸びた。電照施設等と高い技術レベルが必要なことから伸び悩んだ。

(3) 収穫本数

目標25,000本/10aに対して、平成23年度は、約17,000本/10aと迷した。平成22年には、約2万本/10aまで伸びたが、平成23年に伸び悩んだのは、新規生産者の収量が伸びなかったことと、気象要因の影響で収量が上がらなかったと推察される。

※平成24年には、約21,000本/10aと技術改善により伸びつつある。

(4) 3～5リン比率

目標45%に対して、平成23年度で44%とほぼ目標に達した。平成24年には、57%となった。

2. 今後の取り組み

かん水方法改善、栽植密度見直しなどの技術改善に取り組んでいるところである。



↑ 巡回指導会風景



↑ 収穫前のほ場風景

[中部総合事務所農林局]